

足利市地域福祉会館だより



令和3年12月号 足利市山下町1312番地1

☎62-7690



山前絵手紙愛好会さんの作品

晩秋にちなんだ素晴らしい
絵手紙の作品をいただきました。
次回号もお楽しみに！

ウォーキング教室開催しました！

11月2日、絶好のウォーキング日和の中、五十部運動公園ウォーキングコースで実施しました。晴天にも恵まれ、23名の参加をいただき好評のうちに終了しました。

講師の健康運動指導士の長充代さんから、準備体操に始まり、正しい歩き方や靴の結び方まで丁寧に指導していただきました。

参加された皆さんも、意欲的に取り組む姿勢が見られました。

また、マスク、手洗い、3密をさけるといった感染予防対策をとりながら、ウォーキングなどの適度な運動をすることは、免疫力を高めるとともに、屋外で仲間とかわすちょっとした挨拶や会話も、認知機能低下の予防にもつながります。

《来年度につきましても、同様の企画を予定しています。》



人権図書コーナーを

設置しました！

会館で購入した人権図書を利用者の皆さんが手に取りやすいような配置にしました。どうぞ、ご利用ください。



《人権と福祉 トピックス》 アイヌの人々の人権問題

今月号から連続でアイヌの人々の人権問題について掲載します。

北海道を中心とした地域に古くから住んでいるアイヌの人々は、独自の言語であるアイヌ語を持ち、ユーカラ（英雄叙事詩）などの口承文芸や伝統的な儀式など固有の文化を発展させてきました。

特に明治以降、生活を支えてきた狩猟や漁労が制限・禁止されたり、教育の場におけるアイヌ語の使用禁止や日本語の使用を強制されるなどの同化政策が進められました。このため、民族の誇りである文化や伝統の十分な保存、伝承が図られているとは言い難い状況にあります。アイヌの人々に対する誤った認識などから今なお差別や偏見は残されています。（次号に続く）

会館の相談事業について

当会館は、地域社会の中で人権啓発・地域住民交流の拠点として、生活上の各種相談や人権課題の解決のための事業を行っています。相談については、関係行政機関、団体等と連携を図りながら実施しています。(秘密厳守)

◆相談内容について

- 生活相談（経済問題）
- 職業相談（就労）
- 福祉相談（介護、障がい等）

◆相談受付時間

平日 午前8時30分～午後5時

お気軽にご相談
ください！



会館トピックス 「民話の世界へ一語り手による語りのための再話集-2」

毎月第2水曜日に小学生向けに「お話し会」を行っている語りの会の皆さんが本を出版されました。以前、第1集を刊行した際に、採用されなかったおはなしをそのままにしておくのはもったいないとの思いから第2集を作ることになったそうです。誰でも知っている日本の昔話



「浦島太郎」、足利の昔話「鶉（うずら）の鳴かぬ里」、そして足利における「戦争のはなし」も2話収録されています。

編集委員が装丁以外は、全て自分の手で作り上げた素晴らしい一冊となっています。当会館でも貸し出ししますので、お気軽にお声掛けください。

文芸コーナー

(足利俳句会さんの作品より)



- 山茶花の一枝置いてゆく庭師 (くら)
- 来し方も行く末も夢芒原 (礼子)
- 偶然に会いし君老ゆ椿の実 (セウ)
- 紅葉山水鏡してけふの彩 (恵美子)
- コロナ禍やマスクの中に何か居る (緋沙)
- 高原の風と池塘と草紅葉 (ヒロ子)
- 園庭に響く鼓笛や秋高し (陽子)
- 「何食べたい」「何でもいいわ」秋の風 (善子)
- 絵を抜けて白馬黄葉の御射鹿池 (トリ子)
- 早雲の絵に添えられし菊の賛 (弘一)
- 秋深む夫の遺作の海の絵も (房子)

□人権関連貸出図書のご紹介■

○子どもの権利ってなあに？

子どもの権利にはどんなものがあるの？国連子どもの権利条約について分かりやすく説明した絵本です。

(発行元：解放出版社 著者：アラン・セール)

○くまのトーマスはおんなのこ

LGBT について子どもに分かりやすく伝えられる絵本です。

(発行元：ポット出版プラス 著者：ジェシカ・ウォルトン)

☆ご興味のある方は会館まで!!

編集後記☺

来年1月に人権講演会が予定されています。詳細は、あしかがみ1月号をご覧ください。